

# 漁況予報 い わ し

## 第191号

【2015年9～10月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、7月は250トンと前年(166トン)及び平年※<sup>1</sup>(107トン)を上回りました。続く8月も255トン(速報値)で、前年(138トン)及び平年(106トン)を大きく上回りました。

まき網は東京湾側でも相模湾側でも水揚げはありませんでしたが、1ヶ統が断続的に餌イワシとして漁獲しました。

魚体は、7月が被鱗体長※<sup>2</sup>(以下同)9-10cm、8月が10-11cm主体で、これは2015年生まれの当歳魚で、春生まれのマシラス(マイワシ仔魚)が成長したものです。今後、さらなる来遊に期待したいところです。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ総水揚量は、7月は165トンで、前年(317トン)を大きく下回り、平年(207トン)をやや下回りました。続く8月も10トン(速報値)で、前年(118トン)及び平年(45トン)を大きく下回りました。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして断続的に漁獲しました。

魚体は、9-10cmの小型成魚主体に、8月には6-7cmの未成魚も混じりました。

#### 【シラス】

6月は前年比、平年比ともに3倍弱と好漁となった相模湾のシラス漁ですが、7月に入ると新規加入がなく徐々に漁獲水準は落ちていきました。7月の全体漁獲量(標本船データより推定)は前年・平年を大きく下回りました(前年比0.4倍、平年比0.3倍)。

7月下旬に新規加入群の来遊があり漁獲が上向いたのもつかの間、8月に入ると度々急潮に見舞われるなど、潮の流れが非常に速い状態が続いたことも影響したせいか、漁場形成が不安定となりました。特にお盆明け以降、シラスが一掃された形となり出漁を見合わせる船が続出する事態となり、全体漁獲量は7月同様、前年・平年割れとなりました(前年比0.4倍、平年比0.3倍)。14日に発生した急潮による影響と思われますが、8月にここまで不漁になったのは、2004年以来のことです。

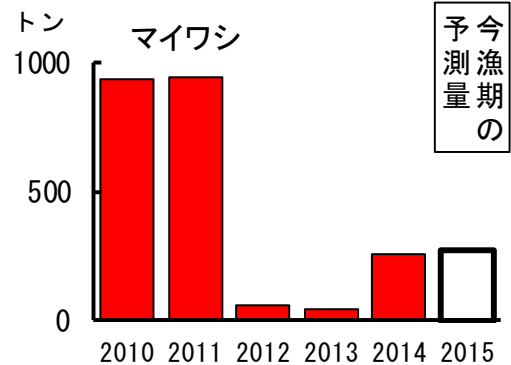
# = 予 報 =

過去5年の9・10月漁期の漁獲量と  
今漁期の予測量

## 【マイワシ】

今漁期は、2015年生まれの小羽マイワシ（11～12cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、春季のマシラスの漁獲状況から、前年並の約270トンと予測されます。

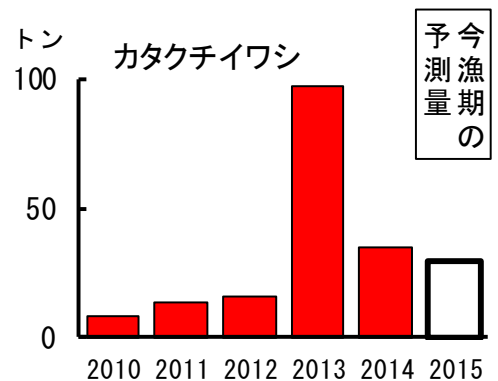


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚（6～8cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年並の約30トンと予測されます。

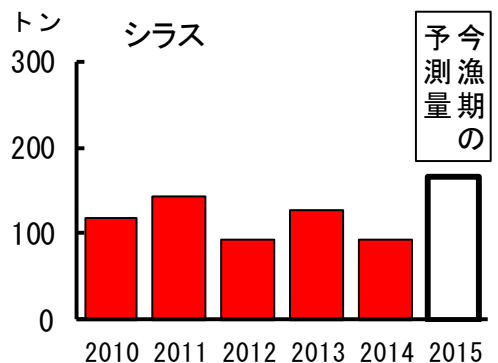


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【シラス】

今漁期は、7月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、7～8月の相模湾周辺のカタクチイワシ卵分布状況から、前年を大きく上回る約165トンと予測されますが、概況でも書きましたように潮流が速い状況が続くと、これを大きく下回るでしょう。



神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2313